

1 決算総括表

(単位:百万円)

区分 事業名	収 益 的 収 支			資 本 的 収 支		
	収 入 (A)	支 出 (B)	差 引 (A)-(B)	収 入 (C)	支 出 (D)	差 引 (C)-(D)
電 気 事 業	(7,931)	(5,948)	(1,983)	(269)	(2,834)	(△ 2,565)
	7,925	5,821	2,104	173	2,484	△ 2,311
工業用水道事業	(2,041)	(1,529)	(512)	(426)	(1,153)	(△ 727)
	2,206	1,613	593	798	1,491	△ 693
水 道 事 業	(6,710)	(4,770)	(1,940)	(672)	(3,592)	(△ 2,920)
	11,497	20,781	△ 9,284	458	3,336	△ 2,878
団地造成事業	(2,852)	(2,492)	(360)	(597)	(2,906)	(△ 2,309)
	5,694	5,248	446	74	1,583	△ 1,509
施設管理事業	(868)	(687)	(181)	(27)	(258)	(△ 231)
	736	697	39	40	317	△ 277
合 計	(20,402)	(15,426)	(4,976)	(1,991)	(10,743)	(△ 8,752)
	28,058	34,160	△ 6,102	1,543	9,211	△ 7,668

(注) 本表以下、金額はいずれも消費税抜きの金額で、()内は前年度決算額です。

2 損益の概要

(1) 総括表

(単位：百万円)

区 分		事業名						合 計
		電気事業	工業用水道事業	水道事業	団地造成事業	施設管理事業		
元年度 (A)	主たる収益(注)	7,721	1,591	6,133	5,633	714	21,792	
	経常損益	2,071	314	1,861	496	39	4,781	
	特別損益	33	279	△ 11,145	△ 50	0	△ 10,883	
	純 損 益	2,104	593	△ 9,284	446	39	△ 6,102	
30年度 (B)	主たる収益(注)	7,679	1,660	6,117	2,697	847	19,000	
	経常損益	1,920	428	1,914	259	181	4,702	
	特別損益	63	84	26	101	0	274	
	純 損 益	1,983	512	1,940	360	181	4,976	
増 減 (A)－(B)	主たる収益(注)	42	△ 69	16	2,936	△ 133	2,792	
	経常損益	151	△ 114	△ 53	237	△ 142	79	
	特別損益	△ 30	195	△ 11,171	△ 151	0	△ 11,157	
	純 損 益	121	81	△ 11,224	86	△ 142	△ 11,078	

(注) 「主たる収益」は次のとおりです。

- 電 気 事 業：販売電力料
- 工 業 用 水 道 事 業：給水収益
- 水 道 事 業：給水収益
- 団 地 造 成 事 業：産業団地等の分譲収益
- 施 設 管 理 事 業：格納庫及び賃貸ビルの賃貸収益、ゴルフ場の使用収益

(2) 事業別損益の状況

① 電気事業

(単位：百万円)

区分	供給電力量 (kWh)	販売電力料	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
元年度(A)	872,145,789	7,721	2,071	33	2,104	雨量が平年比で127%となり供給電力量が増加したことから販売電力料、 経常利益とも前年度に比べ増となり、純利益は1億21百万円増の21億4百 万円となりました。
30年度(B)	783,033,596	7,679	1,920	63	1,983	
増減(A)-(B)	89,112,193	42	151	△30	121	

② 工業用水道事業

(単位：百万円)

区分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
元年度(A)	46,804,932	1,591	314	279	593	受水企業の契約水量の減により給水収益は減となり、台風第19号の被災に より修繕費用などの費用も増加したことから、経常利益は前年度に比べ減とな りました。 また、契約水量の減少に伴う負担金など特別利益3億19百万円を計上した ことから、純利益は増加し、5億93百万円となりました。
30年度(B)	47,498,451	1,660	428	84	512	
増減(A)-(B)	△693,519	△69	△114	195	81	

③ 水道事業

(単位：百万円)

区分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
元年度(A)	83,361,624	6,133	1,861	△11,145	△9,284	給水実績、給水収益は横ばいでしたが、新田山田水道及び東部地域水道を群 馬東部水道企業団へ事業譲渡したことなどに伴う特別利益48億23百万円及 び特別損失159億68百万円を計上したことにより、純損失92億84百万 円となりました。
30年度(B)	83,133,860	6,117	1,914	26	1,940	
増減(A)-(B)	227,764	16	△53	△11,171	△11,224	

④ 団地造成事業

(単位：百万円)

区 分	分譲面積 (m ²)	分譲収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
元年度(A)	267,702	5,633	496	△ 50	446	産業団地の伊勢崎宮郷工業団地及び板倉ニュータウン産業用地のほか、その他団地である館林広域防災拠点（第二期）、合わせて約27ヘクタールを分譲し、前年度の分譲面積約12ヘクタールと比べ、約15ヘクタール増加したため純利益が4億46百万円となりました。
30年度(B)	119,000	2,697	259	101	360	
増減(A)-(B)	148,702	2,936	237	△ 151	86	

⑤ 施設管理事業

(単位：百万円)

区 分	ゴルフ場利用人員(人)	ゴルフ場収益 及び 賃貸収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
	賃貸ビル賃貸面積(m ²) 格納庫賃貸面積(m ²)					
元年度(A)	231,432	714	39	0	39	ゴルフ場事業の指定管理者に対して、台風第19号による施設復旧費用と被災により営業できなかった期間の納付金を1億26百万円減額したことにより、経常利益、純利益ともに減少し、39百万円となりました。
	4,031					
	2,206					
30年度(B)	261,429	847	181	0	181	
	3,772					
	1,757					
増減(A)-(B)	△ 29,997	△ 133	△ 142	0	△ 142	
	259					
	449					